

# 昭和大学新聞

学校法人 昭和大学  
発行人 小口勝司  
電話 (3784) 8000 〒142-8555  
東京都品川区旗の台1の5の8  
1部50円 毎月1回発行

### 7月号の内容

1面  
・第11回学祖祭開催  
・昭和大学学術研究奨励基金  
研究者決定  
・学業成績優秀賞受賞者  
・上條最優秀論文賞決定  
・昭和大学特別功勞表彰

2面  
・上條奨学賞 受賞者決定  
・上條記念ミュージアムホーム  
ページ全面リニューアル

3面  
・学校法人昭和大学 決算の  
概要

4面  
・特別奨学生・シンシアー奨  
学生採用式  
・認定看護師教育センター開  
講式  
・科学研究費助成事業 交付  
状況  
・学生会シンポジウムのお知  
らせ  
・昭和大リカレントカレッ  
ジ 春期プログラム開講・  
秋期プログラム募集開始  
・就任のお知らせ  
・昭和大学サポート寄付金寄  
付者氏名

### 【問合せ先】

【本紙について：総務課大学広報係】  
03-3784-8059  
press@ofc.showa-u.ac.jp

【各種募金・寄付について：企画課】  
03-3784-8387

【学事について：学務課・大学院課・入学支援課】  
03-3784-8022 (旗の台)  
0555-22-4403 (富士吉田)  
045-985-6503 (横浜)  
03-3784-8026 (入学支援課)

## 第11回学祖祭開催

第11回学祖祭が6月6日、上條記念館で開催された。学祖祭は本学の創立者である上條秀介博士の遺徳を偲ぶとともに、本学関係者が一堂に会して絆を深めることを目的としている。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ、規模を縮小しての開催となり、学祖・上條秀介博士の親族、法人役員など164名が出席し、式典の様子をオンラインで配信した。



墓前報告(事業報告・将来計画報告)

同日の朝、学祖祭前に小口勝司理事長をはじめ法人役員と関係者は多磨霊園(東京都府中市)を訪れ、参列者一同で黙祷を捧げ、本学の事業が順調であること、上條秀介博士の墓前に報告した。

午後1時、薬学部6回生の足立純枝さんによるバイオリンとピアノ・二ノ鈴木厚志さんのピアノによる「ジュール・マスネ作曲「タイスの瞑想曲」の演奏で学祖祭が開式。久光正学長が挨拶を述べた。

上條最優秀論文賞、学術研究奨励基金研究者表彰、特別功勞表彰および学業成績優秀賞の表彰が行われた。

また、小口理事長による「令和2年度事業報告および将来計画」についての講話が行われ、最後は代表者による昭和大学宣言と校歌斉唱(清聴)で閉式となった。



挨拶：久光 正学長



講話：小口勝司理事長

### 上條秀介博士 創立への歩み



上條秀介博士が、昭和医学専門学校創立の意を決したのは、東京帝国大学助手として、研究、臨床に忙しい日々を送っていた32歳の時だった。当時は医学統一が強く主張されており、「同じ医者に2つの種類があることは不合理である」という理由から、多数の医学専門学校が大学に昇格していた。ところが、このころが大学の資格を得

た者は、見識のみ高く、直接患者に手を下すものが少なくなっていた。こうした当時の医学教育を憂った上條秀介博士は、「研究に明け暮れ、患者を置き去りにしてはならない。患者から力量手腕について迷いを抱かせるようではいけない」との思いから、社会が要求している優れた臨床医を養成する医学専門学校の創設を決意した。

### 令和3年度 学術研究奨励基金研究者および研究課題

本学では学術研究の将来を担う活力ある若手研究者を育成することを目的に、専任教育職員および大学院生の優れた学術研究に対して研究奨励金を給付している。今年度は学術研究諸活動21件、海外留学諸活動1件に決定した。詳細は表のとおり。

学 部	所 属	職 名	氏 名	研究課題	
医学部	微生物学免疫学講座	助教	長島 隆一	慢性腎臓病(CKD)における自然リンパ球(ILCs)の役割と治療への応用	
	内 科 学 講 座 糖尿病・代謝・内分泌内科学部門	助教	大坂 直也	メチルグリオキサリルハイドロイミダゾロン阻害作用の解明と治療応用	
	内 科 学 講 座 腫瘍内科学部門	助教(医科)	石黒 智之	尿中・呼気中・体液中の揮発性分子検出機による肺がん診断の実現可能性の検討	
	外 科 学 講 座 消化器一般外科学部門	助教	望月 浩孝	術中リアルタイム癌自動診断システムを導入した消化器癌手術の基礎的研究	
		助教	大野 浩平	術前シミュレーションに基づくリアルタイムICG蛍光法を用いた安全な右結腸切除の有用性	
		助教	國上 千紘	食物アレルギー児におけるいじめ被害の実態調査	
	小 児 科 学 講 座 小児内科学部門	助教(医科)	佐々木郁成	尿路感染症患児から分離されたESBL産生菌の酵素遺伝子型と抗菌薬感受性	
		助教	本多 愛子	鶏卵アレルギーの耐性獲得の診断法についての前向き観察研究	
	歯学部	口腔外科学講座 口腔腫瘍外科学部門	助教(歯科)	安部 勇蔵	低酸素・低栄養状態の口腔扁平上皮癌細胞におけるTPD52の細胞生存因子としての役割の検索
	薬学部	基礎医療薬学講座 生理・病理学部門	助教	高橋 玲	現在ニーズの高い免疫疾患に関わるヒトトランクルハン細胞の機能的で最適なin vitro生成法の確立
病院薬剤学講座		助教	越塚 宏美	昭和大学江東豊洲病院において、末梢静脈栄養が栄養状態に与える影響および使用状況に関する調査	
基礎薬学講座 腫瘍細胞生物学部門		助教	日暮 大誠	癌細胞における呼吸鎖機能(NAD <sup>+</sup> 産生)による細胞増殖制御機構の解明	
基礎医療薬学講座 薬理学部門		助教	籠内 良介	糖尿病神経障害に対するSMTM-44Dの作用メカニズムの解明	
臨床薬学講座 がんゲノム医療薬学部門		助教	松本奈都美	核酸輸送に関与するトランスポーターの遺伝子多型とカペタキチンの体内動態及び毒性	
保健医療学部	看護学	講師	尾形 佑香	看護学生の共感とメタ認知の関係	
		講師	市村 菜奈	音楽聴取による記憶想起時の脳血流の変動	
		講師	藤後 秀輔	ビデオ映像を用いた看護師の行動分析に基づく看護師自身の省察	
	理学療法学科	講師	前田 卓哉	上肢の身体抑制後の上肢機能の関連について	
看護専門学校	作業療法学科	講師	青木啓一郎	認知症専門病棟における脳細胞トレーニングツールCogEvoの有用性の検討	
		講師	花田 康高	多自由度系のトンネル効果におけるカオスの役割について	

海外留学諸活動	1件(申請件数:1件)	給付額	100万円	
学 部	所 属	職 名	氏 名	研究課題
医学部	内 科 学 講 座 循環器内科学部門	助教	酒井孝志郎	臨床的治療戦略と転帰におけるPullback pressure gradient (PPG) indexの影響調査および前向き多施設登録研究(PPG global registry)の解析

### 令和3年度 昭和大学特別功勞表彰

特別功勞表彰は、本学に著しく貢献した職員を対象として、その功勞を称えるものである。今年度は、コロナ禍において、患者はもとより、学生や職員のために平日・休日、昼夜の別なく検査業務に尽力した、昭和大学病院PCRセンターに贈られた。

受 賞 者	
昭和大学病院 PCRセンター	センター長 木内 祐二  他 82名(※)



表彰(特別功勞表彰)

### 令和3年度 上條最優秀論文賞受賞者および論文名

上條最優秀論文賞は、本学研究者が筆頭著者として出版した論文(オンライン出版を含む)のうち最も優秀な論文を対象として表彰するものである。今年度は、がん細胞のHER2遺伝子変異がHER2を標的とした抗体薬物複合体(ADC)の効果を予測するバイオマーカーになりうることを示唆する臨床試験結果を論文発表した、昭和大学先端がん治療研究所の鶴谷純司所長が表彰された。

筆頭著者	論 文 名
昭和大学 先端がん治療研究所 所長 鶴谷 純司	Targeting HER2 with Trastuzumab Deruxtecan: A Dose-Expansion, Phase I Study in Multiple Advanced Solid Tumors.



表彰(上條最優秀論文賞)

### 昭和大学学業成績優秀賞

学業成績優秀賞は、本学各学部生および医学部附属看護専門学校生の成績優秀者の学習意欲を喚起することを目的として表彰するもの。令和3年度は次の学生が表彰された。

令和3年度 学業成績優秀賞受賞者		
医学部	2年	石塚 千紘
	3年	櫻井 春輝
	4年	大川 哲平
	5年	平野 真穂
	6年	高須宗一郎
歯学部	2年	嘉陽さくら
	3年	村崎 智仁
	4年	飯田 萌
	5年	木内 彩紀
	6年	根岸宗一郎
薬学部	2年	中道 万結
	4年	須原沙緒里
	5年	若槻 真由
	6年	花澤 聖
	保健医療学部	2年
3年		佐々木麻琴 (看護学科)
4年		千葉 美並 (作業療法学科)
看護専門学校		2年
	3年	松本明香里

(ほか 薬学部3年 1名)

※氏名は次号に掲載

# 上條奨学賞 令和3年度は9名が選ばれる

上條奨学賞は、1953年に上條秀介学長(当時)が還暦の年に寄附した上條奨学基金の果実により、学術上有益な研究業績を挙げた人、教育実践上の功績を挙げた人にそれぞれ贈られる。上條奨学資金委員会は各学部からの推薦に基づき、次の9名を今年度の受賞者に決定した。

## 研究業績部門

医学部 生理学講座 生体調節機能学部門 講師 本間 元康



「神経疾患における認知機能障害の解明」  
この度は大変名誉ある上條奨学賞を賜り光栄に存じます。私は心理学分野出身ですが、泉崎雅彦教授のご指導のもと、心理学と医学の垣根を超えた学際的研究に従事しております。これまで健常者の認知機能について研究してきましたが、昭和大学においては脳神経内科の先生方との共同研究に恵ま

れ、特にパーキンソン病における認知機能の解明に取り組んできました。パーキンソン病の主症状は運動障害ですが、認知機能にも様々な障害が発症することが分かっています。そのような中、感覚統合機能の障害という新たな認知機能障害を報告しました。未知の認知機能障害の発見やそのメカニズムの解明が患者さんの治療やリハビリテーションに結び付くと信じ、学際性の視点を持って医療に貢献して参りたいと思います。

歯学部 口腔生理学講座 講師 中山 希世美



「咀嚼・嚥下運動の形成および調節に関する神経機構の解明」  
このたびは名誉ある上條奨学賞を賜り大変光栄に存じます。ご指導いただきました井上富雄教授をはじめとする口腔生理学講座の先生方、一緒に実験をして下さった大学院生の皆様がこの場をお借りして心より御礼申し上げます。

私は、これまで咀嚼・嚥下の神経メカニズムの解明に取り組んでまいりました。その過程で、顎舌の協調運動を司る神経機構、脳内アミンによる顎運動の調節機構、嚥下反射を増強する薬剤の同定と作用メカニズムなどについて解明し、報告してきました。咀嚼・嚥下は、生命維持の根幹となる重要な機能であるにも関わらず、その礎となる神経機構には未解明の部分が多く存在しております。今後この分野の研究を継続し、医療の発展に少しでも貢献したいと思っております。

薬学部 基礎薬学講座 生物化学部門 准教授 小濱 孝士



「酸化変性リポタンパク質と好中球細胞外トラップ形成の炎症惹起性に関する研究」  
このたびは名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。ご指導いただきました板部洋之教授をはじめ、生物化学部門の先生方や学生の方のご協力とご支援に心より御礼申し上げます。

自身のDNAを投網のように細胞外へ放出し、病原細菌を絡めとる感染防御反応として発見されました。一方でNETsは感染を伴わない疾患でも生じ、組織傷害性が強く様々な疾患の形成要因にもなります。本研究では酸化変性リポタンパク質がNETs形成を促進し、血管内皮細胞の形態変化と炎症を相乗的に増悪することを発見しました。脂質代謝異常における血管疾患発症の理解に繋がる知見を発信できるように、今後も詳細な解析を進めていく所存です。

保健医療学部 看護学科 准教授 村田 加奈子



「地域に住む高齢者のフレイルに関連する要因の検討」  
この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。本研究の発展にお力添えくださいました下司映一保健医療学部長と田中一正特任教授をはじめ、ご協力を賜りました関係各位の皆様、心より感謝申し上げます。2020年に介護保険制度が始まり、しばらくして地域で暮らす高齢者の要介護度の変遷を分析し

ました。その結果、初回認定で要支援とされた人の四割に1年後要介護への悪化がみられました。そこから要介護状態になる前の介護予防に貢献したいと考え、フレイルに着目して研究を進めて参りました。本研究では、ソーシャルキャピタルが地域参加を促進し、フレイルを予防する可能性のあることを報告しました。今後はさらにCOVID-19による自粛生活とフレイルの関係についても研究を進め、研究成果を広く公表して健康寿命の延伸に貢献したいと思っております。

医学部 耳鼻咽喉科学講座 教授 小林 一女



「臨床実習教育の充実とOSCEの適正な実施体制の構築」  
この度は令和3年度、昭和大学上條奨学賞(教育功績部門)を賜りました。大変名誉なことで光栄に存じます。誠にありがとうございます。これまでご指導を賜りました高木康名誉教授、多大なご支援をいただいた医学教育講座の先生方、学事部学務課の皆様へ心より感謝申し上げます。

「チーム医療を担い、対人援助職としての薬剤師養成を指向した新しい教育プログラム」  
このたびは名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。この受賞は、これまでご指導を頂きました中村明弘薬学部長、木内祐二学部長をはじめ、薬学部での授業やフィジカルアセスメントの教育に協力して行っていた学事部学務課の皆様、多大なご支援を賜りました。今後も関係各位と協力して行っていく所存です。今後ともよろしく御礼申し上げます。

歯学部 口腔病態診断科学講座 歯科放射線医学部門 教授 荒木 和之



「共用試験CBTに対する教育の向上」  
このたびは名誉ある上條奨学賞をいただきました。誠に光栄に存じます。

私は10年以上にわたり共用試験CBTに携わってきました。歯学部CBTでは歯科学全般についての知識が問われます。全ての講座・部門の先生方のご協力をいただき、先生方がそれぞれの総復習ができるカリキュラムの構築

薬学部 社会健康薬学講座 医薬品評価薬学部門 准教授 亀井 大輔



「チーム医療を担い、対人援助職としての薬剤師養成を指向した新しい教育プログラム」  
このたびは名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。この受賞は、これまでご指導を頂きました中村明弘薬学部長、木内祐二学部長をはじめ、薬学部での授業やフィジカルアセスメントの教育に協力して行っていた学事部学務課の皆様、多大なご支援を賜りました。今後も関係各位と協力して行っていく所存です。今後ともよろしく御礼申し上げます。

場をお借りして心より御礼申し上げます。チーム医療を担う薬剤師が対人援助職として活躍するためには、薬剤師自身が患者状態を把握し評価できる資質の醸成が重要となります。今回、症候学の基礎的な考え方の修得と情報収集のためのフイジカルアセスメントを結びつけたシミュレーション演習を構築し実践しました。今後も昭和大学のチーム医療教育及び薬学教育の発展に一層精進する所存です。ご指導ご鞭撻のほど、よろしく御礼申し上げます。

保健医療学部 作業療法学科 教授 志水 宏行



「本学附属病院における作業療法学科臨床実習体制の構築」  
このたびは名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄であり厚く御礼申し上げます。今回の受賞は、前学科学長のご尽力と、下司映一保健医療学部長をはじめとする学部の皆様、作業療法学科教員・臨床教員の皆様、そして統括リハビリテーション室および附属病院作業療法士の皆様のご理解とご協力のおかげであり心より感謝申し上げます。2016年度に各学年に配当されている臨床実習のすべてを本学附属病院で実施することを開始し、シームレスな養成体制を構築してきております。これは我が国の作業療法士養成課程では他に例がなく、本学の優れた臨床体制に依るところが大きいと思われま

す。今後は昭和大学の建学の理念に根ざした作業療法士教育の発展に邁進する所存ですので、よろしく御礼申し上げます。

富士吉田教育部 教授 平井 康昭



「富士吉田医薬資源園を活用した教育への取り組み」  
このたびは上條秀介先生ゆかりの上條奨学賞を賜り、誠に光栄に存じます。この賞をいただきましたのも、富士吉田校舎の皆様のご理解とご支援によるものと感謝しております。私は本学薬学部を卒業後大学院に進学し、修了後、薬学部の「生薬学・植物薬

品化学教室」に入職しました。それ以来、薬用植物から成分を単離し、構造を解明する研究を行いました。その後、富士吉田教育部に異動したのを機に、医療の場で薬用植物に関する知識をコミュニケーションツールとして使ってもらいたいという思いから選択科目「薬用植物の科学」を開講させていただきました。今回の受賞は、私が取り組んできた試みに対するご褒美と思いき、とても嬉しく感じております。

## 教育功績部門

### 昭和大学上條記念ミュージアム ホームページが全面リニューアル



昭和大学上條記念ミュージアムのホームページがリニューアルされ、スムーズな見学予約が可能に！企画展 学生クラブの歴史紹介 現在公開中。皆様のご来館をお待ちしております。  
開館日 火曜日・金曜日 午後1時～午後3時  
※団体申込みの場合、見学時間は別途ご相談ください。  
※上條記念館でのイベント開催時に、ミュージアムオープン希望される団体は、ご相談ください。  
お問合せ：03-3784-8031  
Email: museum@ofc.showa-u.ac.jp



# 令和2年度 学校法人昭和大学 決算の概要

令和2年度学校法人昭和大学の決算は、令和3年5月18日の評議員会に報告しました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が随所に現れております。附属病院では新型コロナウイルス感染症の陽性患者を受け入れるにあたって、感染拡大防止のために診療制限をかけるを得なく、本学の収入の約8割を占める医療収入予算において、66億円のマイナス補正を行いました。支出においては、学生のオンライン講義へ対応するための機材導入や感染防止対策のためのPCR検査の実施等で費用がかさみ、施設設備の整備計画は必要最小限のものに絞るべく見直しを行いました。このような状況下においても初年次全寮制教育の充実に向け、富士吉田キャンパスに新学生寮(百合寮)を建設しました。また、コロナ禍により経済的困窮に陥った学生を支援するための給付金を支給いたしました。外部資金の獲得としては、私立大学等経常費補助金の交付額が前年度から一つ順位が上がり全国5位となりました。

収入の部の主要科目では、予算に比べて人件費支出が5億984万円の減で執行率は99.0%、教育研究経費支出が24億925万円の減で執行率は95.5%となりました。この教育研究経費の中で大きな比重を占める、薬品費・医療材料費・給食材料費・医療委託費が収入の35.7%でした。管理経費支出は12億2,591万円の減で執行率は77.2%となりました。また、土地、建物等の施設関係支出は予算に比べて18億2,858万円の減で執行率は75.0%、教育研究用機器備品、図書などの設備関係支出は3億147万円の増で執行率は111.8%となりました。これら以外の科目では借入金等返済支出、資産運用支出等があります。

事業活動収支については、事業活動収支は企業会計の損益計算に近いもので収支均衡状態を測定し、経営状況を明らかにするものです。諸活動の収入を合算した事業活動収入の合計は1,265億5,124万円となり、予算より64億4,922万円の増加となりました。科目ごとの金額は資金収支と重複しますので主要科目の構成割合を示します。学生生徒等納付金は7.3%、経常費等補助金は12.2%、入前当年度収支差額は、103億7,131万円の収入超過、黒字となり、基本組入額92億7,720万円を引いた当年度収支差額は、10億9,411万円の収入超過となりました。

令和3年3月31日現在の財産状況を示しております。固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金預金・未収入金他)の資産の部合計は2,275億6,177万円で、前年度末と比べて82億2,467万円の増加となりました。主な変動要因として、土地が12億3,285万円の増、教育研究用機器備品が13億5,092万円の減となりました。第2号基本基金引当特定資産と富士吉田校舎施設設備引当特定資産は富士吉田キャンパスの百合寮建設に充てたため、各々4億9,375万円と10億円の減、第3号基本基金引当特定資産が5億1,177万円の増、電子カルテ等引当特定資産が9億4,000万円の増、校地拡充引当特定資産が2億7,810万円の減、藤が丘病院再整備引当特定資産は20億円の増、旗の台キャンパスCサイト整備引当特定資産は10億円の増となりました。支払資金にあたる

収入超過、黒字となり、基本組入額92億7,720万円を引いた当年度収支差額は、10億9,411万円の収入超過となりました。令和3年3月31日現在の財産状況を示しております。固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金預金・未収入金他)の負債の部合計は452億4,531万円で、前年度末と比べて21億4,664万円の減少となりました。長期借入金金は21億6,792万円の減少となりました。資産の部合計から負債の部合計を差し引いた「正味財産」は1,823億1,646万円で、前年度より103億7,131万円増加となりました。

関係者に財務諸表等の閲覧を行います。また、昭和大学ホームページにも財務諸表を公開します。\*当法人の財務諸表は、学校法人会計基準に則って作成しており、補助金交付の表示区分となっております。(財務担当理事 中村明弘)

## 令和2年度 資金収支計算書

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	9,267,274,000	人件費支出	51,239,528,503
手数料収入	424,967,060	教育研究経費支出	51,466,270,580
寄付金収入	741,950,941	管理経費支出	4,160,656,470
補助金収入	16,285,099,410	借入金等利息支出	243,421,248
資産売却収入	220,000,000	借入金等返済支出	2,167,920,000
付随事業・収益事業収入	1,750,781,406	施設関係支出	5,484,105,808
医療収入	95,552,174,052	設備関係支出	2,859,700,601
受取利息・配当金収入	196,562,287	資産運用支出	7,461,170,000
雑収入	1,943,228,573	その他の支出	10,801,465,880
借入金等収入	1,130,000,000		
前受金収入	1,889,832,423		
その他の収入	21,967,279,812		
資金収入調整勘定	△ 24,179,256,412	資金支出調整勘定	△ 9,317,571,807
前年度繰越支払資金	27,774,660,274	翌年度繰越支払資金	28,397,886,543
収入の部合計	154,964,553,826	支出の部合計	154,964,553,826

## 令和2年度 事業活動収支計算書

(単位:円)

教育活動収支		特別収支	
事業活動収入の部		事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	9,267,274,000	資産売却差額	0
手数料	424,967,060	その他の特別収入	1,035,845,144
寄付金	916,151,205	特別収入計	1,035,845,144
経常費等補助金	15,456,235,313	事業活動支出の部	
付随事業収入	1,652,008,805	資産処分差額	146,956,335
医療収入	95,552,174,052	その他の特別支出	6,840,527
雑収入	1,951,253,457	特別支出計	153,796,862
教育活動収入計	125,220,063,892	特別収支差額	882,048,282
		基本組入前当年度収支差額	10,371,314,240
		基本組入額合計	△ 9,277,202,952
		当年度収支差額	1,094,111,288
		前年度繰越収支差額	△ 108,367,021,815
		翌年度繰越収支差額	△ 107,272,910,527
事業活動支出の部			
人件費	51,385,449,880		
教育研究経費	59,575,037,989		
管理経費	4,775,404,340		
徴収不能額等	46,819,365		
教育活動支出計	115,782,711,574		
教育活動収支差額	9,437,352,318		
教育活動外収支			
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	196,562,287		
その他の教育活動外収入	98,772,601		
教育活動外収入計	295,334,888		
事業活動支出の部			
借入金等利息	243,421,248		
その他の教育活動外支出	0		
教育活動外支出計	243,421,248		
教育活動外収支差額	51,913,640		
経常収支差額	9,489,265,958		

## 貸借対照表

令和3年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
固定資産	176,403,966,339	固定負債	30,442,632,110
有形固定資産	140,996,551,705	流動負債	14,802,680,353
特定資産	28,271,520,873	負債の部合計	45,245,312,463
その他の固定資産	7,135,893,761	純資産の部	
流動資産	51,157,807,844	基本金	289,589,372,247
		繰越収支差額	△ 107,272,910,527
		純資産の部合計	182,316,461,720
資産の部合計	227,561,774,183	負債及び純資産の部合計	227,561,774,183

### 医学堂書店

品川区  
旗の台  
電話(03)  
3783-9774



### 昭和大学 富士吉田の天然水

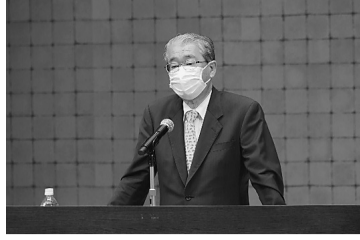
各種グッズも  
取り扱っております  
・昭和大学オリジナルワイン  
・ポロシャツ など販売中!

昭友商事株式会社  
03-3784-8280  
http://www.shoyu-trading.com/



日本調剤株式会社 東京都千代田区丸の内1-9-1 http://www.nicho.co.jp/

# 令和3年度特別奨学生・シンシアー奨学生採用式



挨拶：久光 正学長

5月24日、令和3年度昭和大学特別奨学生・シンシアー奨学生採用式を上條記念館で挙行了。今年度は、特別奨学生として医学部5年生15名、歯学部5年生5名、薬学部5年生10名のあわせて30名、シンシアー奨学生として医学部2年生5名、歯学部2年生3名、

薬学部2年生3名、保健医療学部2年生3名のあわせて14名が採用された。昭和大学特別奨学金は、4年次の成績が上位で、卒業後は本学大学院に進学し、引き続き本学において専任教育職員として教育・研究・臨床の分野で大学の発展のために貢献する意思があることが採用の条件になっている。奨学生には5年次と6年次の授業料相当額の奨学金が給付され、大学院に進学した場合も同様に奨学金が給付される。



謝辞：奨学生代表

よび4年次の学生で要件を満たした者に給付される。久光正学長は挨拶で「奨学生に採用された皆さんには、将来、昭和大学で後輩を育てる教育者あるいは、優れた発見をする研究者、医療者を通して社会に貢献する医療者、それぞれの形で昭和大学の名を高める役割を担っていただきたい。特別奨学金制度は、大学院を経て、教育・研究を続けるための投資である。今年度からシンシアー奨学金制度を開始

され、3年後には、2年生(6年生まで奨学生が続いていくことになる。最大限の気持ちを含めて、皆さんに将来を託したい」と述べた。

採用式では久光学長から一人ひとりに採用証が手渡され、特別奨学生代表は「本奨学金により、これから控える卒業試験・国家試験の学業に専念できる環境をご提供いただきました。これに報いることができよう、国家試験に合格し、卒業後は昭和大学の発展に寄与していきます」と、シンシアー奨学生代表は「建学の精神」至誠一貫を心に刻み、勉学に励む私たちにとって、本奨学金は大きな支えとなります。これに報いることができるよう、優れた医療人を目指し、今後の学業に努めてまいります」と謝辞を述べた。

を歓迎します。教育の理念である「社会に貢献する優れた医療人の育成」を体現すべく、知識・技術・マインドを身につけていただきたい」と新入生の成長と奮闘を祈った。

三村洋美認定看護師教育センター長は挨拶で「会場の方、オンラインの方とお会いできて嬉しいです。当センターの学修は知識の応用理解であり、分析・統合から評価へと進み、さらに創造へつなげ後輩の指導へと発展していきます。1年後に到達すべき目標を定め、指導者と共に一緒に学んでいきましょう」と語った。

# 令和3年度認定看護師教育センター開講式



挨拶：小川良雄リカレントカレッジプリシパル

6月1日、令和3年度認定看護師教育センター開講式を上條記念館で挙行了。同センターは、質の高い医療を提供するマネジメント能力を有した看護師を育成し、国民の健康と安寧に貢献できる高度な看護実践者である認定看護師として

て社会に送り出すことを目的に設置された。令和2年度に1期生を迎え、本年度は2期生が学ぶ。久光正学長は挨拶で「看護の仕事は患者さんの痛みをいかに少なくするか、チームで協力し看護の立場から進んでいくことが重要です。1年後の各課程での学修を経てレベルアップできるように、今の自分に投資してください。学修の成果を得て素晴らしいキャリアアップをされることを望みます」と述べた。



挨拶：三村洋美認定看護師教育センター長

閉式後、担当教育職員の紹介やオンラインでの各分野オリエンテーションが実施された。今年度は手術看護分野16名、腎不全看護分野16名、認知症看護分野5名の計37名が入学し、10か月の課程を通して認定看護師に必要な知識・技能等を学んでいく。

小川良雄リカレントカレッジプリシパルは挨拶で自身の臨床医としての経験を語りながら、「長い時間をの課程を、実地も含め、緩急をつけてしっかりと取り組んでください。1年後、

三村洋美認定看護師教育センター長は挨拶で「会場の方、オンラインの方とお会いできて嬉しいです。当センターの学修は知識の応用理解であり、分析・統合から評価へと進み、さらに創造へつなげ後輩の指導へと発展していきます。1年後に到達すべき目標を定め、指導者と共に一緒に学んでいきましょう」と語った。

## 令和3年度 科学研究費助成事業交付内定状況

令和3年6月現在(令和3年度転入者含む)

年度	令和3年度	
	件数	金額(円)
総計	317	334,562,807
学部・研究所別内訳		
医学部	134	122,062,807
歯学部	105	134,600,000
薬学部	34	37,000,000
保健医療学部	25	16,400,000
富士吉田教育部	2	3,100,000
臨床薬理研究所	6	11,600,000
発達障害医療研究所	5	4,400,000
薬理科学研究センター	1	500,000
統括研究推進センター	1	800,000
国際交流センター	1	1,500,000
学長直属	2	1,500,000
電子顕微鏡室	1	1,100,000
研究種目別内訳		
新学術領域研究	1	2,000,000
基盤研究(B)	9	30,600,000
基盤研究(C)	175	164,562,807
挑戦的研究(萌芽)	4	8,200,000
若手研究(B)	1	(※) 0
若手研究	119	116,800,000
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	1	5,100,000
研究活動スタート支援	7	7,300,000

※令和3年度延長課題のため、本年度分の入金なし

令和3年度の科学研究費助成事業の交付が内定し、本学は昨年度より27件多い317件が採択され、総計で3億3,456万2,807円が交付される。同事業は、人文学・社会科学から自然科学までのすべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究を幅広く支援、発展させることを目的とする競争的研究費で、独自の採択課題が選定される。交付内定の各内訳は次のとおり。

## 令和3年度 科学研究費助成事業 交付内定

## 第30回昭和大学学士会シンポジウム バイオメディカルサイエンスの最前線

- 日時：2021(令和3)年8月28日(土)
- レドックス感受性アダプター分子の疾患発症における役割  
昭和大学医学部生化学講座 准教授 金山 朱里
  - 生活習慣病に潜むタンパク質分解異常  
昭和大学医学部生化学講座 准教授 宮崎 拓郎
  - オルガノイド技術を用いた多能性幹細胞による3次元唾液腺の誘導  
昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門 講師 田中 準一
  - 最新技術で迫る破骨細胞の真の姿  
昭和大学歯学部歯科薬理学講座 教授 高見 正道
- ☆開催詳細は昭和大学学士会ホームページにてご案内いたします。

**就任のお知らせ(6月8日 理事会承認)**

横浜市北部病院脳血管センター長  
(勤務地：横浜市北部病院脳血管センター(脳卒中科))

**寺田 友昭**  
現：特任教授(学長直属)  
任命日：令和3年6月1日



**昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方**

**教育研究協力資金への寄付**  
【父母】  
金納 慶太様 / 田中 宗史様  
有村 健一郎様

**昭和大学藤が丘病院への寄付**  
【一般】匿名希望様

**昭和大学横浜市北部病院への寄付**  
【一般】  
横浜都筑ロータリークラブ様


**その他への寄付**  
【同窓】  
中山 壽朗様(医学部・35回生)

## 昭和大学リカレントカレッジ 春期プログラム開講・秋期プログラム募集開始


本年4月より春期プログラムが開講しました。春期プログラムは医学に関するプログラムを中心に全18講座を開講し、対面またはオンラインで実施しています。対面時の講座の会場は、主に上條記念館を利用し、感染対策を行った上で開講しています。またオンライン講座では、講師が配信スタジオからzoom等でライブ配信を行っており、双方向でのやり取りが可能です。さらに、対面とオンラインを併用し、ハイブリッド型で開講するプログラムもあり、ライフスタイルに合わせての受講が可能となっています。学生時代に戻ったように、熱心に講義を聴講し、課題や発表に取り組んでいる受講生の姿がとても印象的です。

また、7月1日より秋期プログラムの受講生募集を開始しました。秋期プログラムでは全31講座を準備しており、専門的な知識の習得から趣味を極める内容まで多彩なラインナップを取り揃えています。ぜひ、あなたの人生に役立つ新しい知識の色を増やしてみたいかがでしょうか。

問い合わせ：昭和大学リカレントカレッジ事務室 (03-3784-8143)  
※リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。  
次号より秋期開講プログラムを紹介していきます。



対面での講義の様子(感染対策を行った上で実施)



配信スタジオからライブ配信を行っている様子